

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 12 月 25 日

【評価実施概要】

事業所番号	3890200037		
法人名	社会福祉法人 興風会		
事業所名	グループホーム ステラ		
所在地	今治市大西町紺原甲1166番地1 (電話) 0898-53-0110		
管理者	吉井 恵美子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 11 月 18 日	評価確定日	平成 20 年 12 月 26 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 10 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 7 月 25 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 15 人, 非常勤 1 人, 常勤換算	14.5 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	49,500 円	その他の経費(月額)	13,500 円	
敷金	有()円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 10 月 1 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護 1	5 名	要介護 2	8 名
要介護 3	5 名	要介護 4	名
要介護 5	名	要支援 2	名
年齢	平均 85 歳	最低 75 歳	最高 93 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは静かな田園地帯の住宅地にある木造2階建ての建物であり、小規模多機能型居宅介護事業所が併設されている。玄関は一か所であるが、家族や近隣の方が気軽に訪ねて来られるような雰囲気づくりがなされている。居間は明るく、利用者の居室の窓の障子が家庭的で落ち着いた雰囲気を感じさせる。管理者及び職員は理念にそって利用者の日々の暮らしを支えており、利用者はお互いに協力しながら、自分のペースで穏やかに過ごしている。ホーム内の行事も、利用者の楽しみごとや外出を多くした計画を企画している。また地域の行事に参加したり、学生ボランティアを受け入れるなどしながら、地域との交流も深めている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

理念について職員で話し合い、具体的に分かりやすい言葉に変更しているが、開設時からの理念も原点として大切にしている。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

管理者及び職員は評価の意義を理解しており、自己評価については職員全員で意見を出し合い、話し合いを行っている。自己評価をすることにより気づきも得られている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

会議には本人及び家族、市職員、地域住民等が参加している。利用者の状況やホームの活動内容、職員の会議や研修状況などを報告している。また意見交換も行っており、出された意見はサービスの向上に活かしている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

ホームの入り口に意見箱を設置している。家族の来訪時や家族会、運営推進会議などで意見を聞いている。また重要事項説明書にホーム及び外部の苦情申立先を明記し、介護サービスに関する苦情解決の仕組みについても表記している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

ホームとして自治会に入っていないが、地域の清掃などの役割は担っている。地域の情報は、広報、地元在住の職員、運営推進会議等から得ている。地域の行事や同法人の施設の行事に参加したり、移動パン屋に来てもらったり、学生ボランティアを受け入れるなどして、交流を深めている。さらに地域密着型ホームの機能を地域に還元していくことを期待したい。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム ステラ

(ユニット名)

1階

記入者(管理者)

氏名

井手口 裕

評価完了日

平成 20 年 10 月 20 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) (あんき)は利用者のための分かり易い理念であると思う。 (外部評価) 管理者及び職員は地域密着型サービスの意義を理解しており、開設時の理念を誰にでも分かる言葉「共に笑顔であんきな生活」に置き換えて表現している。開設当初の理念は、利用者のケアを実践するために詳しく具体的に書かれているため、職員は日々のケアに活かしている。	※	施設名が(ステラ)に変更になった事でもあり、理念の見直しの検討中である。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) その人らしくマイペースで日常生活を送る事に取り組むことを心がけている。 (外部評価) 管理者及び職員は理念を共有し、利用者の日々の暮らしを支えている。理念は誰でも見えるところに掲示している。	※	フロアでの朝礼の時にでも唱和し理念を意識したケアに取り組みたい。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) グループホーム生活者としてのあり方を十二分に理解しあえてきているように思える。	※	ご家族に向けては2か月に1回の園だよりを掲載し、隣近所にも配布する事を考えたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 毎日、近くの薬師堂へ散歩がてら笑顔で御参りをし、近所の人に挨拶をする事に心がけている。週に1回は掃除もしている。	※	日頃から気軽に立ち寄って頂けるよう、声かけを増やしていきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 年間を通し出来る範囲地域活動への参加をするよう心がけている。また訪問を受けより良い交流が出来るようになってきた。	※	隣近所や中学校、小学校へ園だよりや年賀状を送る事や、幼稚園、学校等へ出向き共に掃除をしたり、交流の機会を増やしたい。
			(外部評価) ホームとして自治会に入っていないが、地域の清掃などの役割は担っている。地域の情報は、広報、地元在住の職員、運営推進会議等で得ている。地域行事や同法人施設の行事に参加したり、移動パン屋に来てもらったり、学生ボランティアを受け入れるなどして、交流を深めている。	※	地域との交流はできてきているので、さらに地域との連携・交流を図るために、ホームの機能を地域に還元していく取り組みを期待したい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 本人の希望に合わせた日常を送る中で地域高齢者とのかわりを持てるような取り組みを少しずつ行っている。	※	もっと色々と改善に努めたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 出来ている所と出来ていない所の理解と意識づけを行い、話し合いの場を持ち検討している。	※	もっと色々と改善に努めたい。
			(外部評価) 管理者及び職員は評価の意義を理解しており、自己評価については職員全員で意見を出し合い、話し合っている。自己評価をすることにより気づきも得られている。外部評価の結果は職員に伝え、改善に向けて話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2か月に1回は開催をし、さまざまな取り組みや行事活動を見てもらいそれに対する意見交換をしている。 (外部評価) 会議には本人及び家族、市職員、地域住民等が参加している。利用者の状況やホームの活動内容、職員の会議や研修状況などを報告し、意見交換も行っている。出された意見はサービスの向上に活かしている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 在宅介護支援センターや地域包括支援センターの職員と一緒に市の担当者とも協力して介護保険の普及や説明並びに介護保険外のサービス利用の普及を行っている。 (外部評価) 市との連携は取れており、ホームの状況報告を行ったり、相談するなど、互いに行き来する関係ができています。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 地域包括支援センターの協力を得て制度の普及と説明の場を提供している。ミーティングの時勉強会を開いている。	※	今後も引き続き市や包括支援センターと協力をしていきたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 社内での研修会を持ち職員全員が学ぶ機会に積極的に研修に参加して勉強している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 雑談を交えながら懇切丁寧に説明をし理解をしてもらっている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 普段の生活の中から利用者さんの意見をよく聞き、利用者さんの要望に答えるため、不満や苦情を聞いている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 変わった状況が起きた場合はその都度連絡し、その他はのんき新聞や家族会、行事の案内などで報告をしている。 (外部評価) 家族の来訪時及び2か月に1回ある家族会などで報告している。状況に変化があればその都度連絡している。また、ホーム便りを発行して日々の生活を伝えている。金銭については預からないことを基本としているが、預かっている利用者に関しては、家族の来訪時に出納帳を見てもらい、家族から確認のサインをもらっている。	※	スタッフの異動についても、園だより等を通じて報告したい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族さんの訪問を気軽に受ける事が出来、昼食事などには一緒に会食をする事で話し合いを持てるようにしている。 (外部評価) ホームの入り口に意見箱を設置している。家族の来訪時や家族会、運営推進会議などで意見を聞いている。また、重要事項説明書にホーム及び外部の苦情申立先を明記し、介護サービスに関する苦情解決の仕組みについても表記している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月開かれるミーティングにより、職員の意見を吸い上げそれを反映させている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ミーティングの時に打ち合わせをしたり、行事の時は都合を合わせて人数を増やしたりして対応している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の異動時は利用者のダメージをうかがい知る事が良くわかり異動職員の話をよく聞き、会話に出てくる。 (外部評価) 職員の離職や管理者の交代、法人内の異動等はあったが、ユニット内は固定するよう配慮している。異動時は他の職員がフォローしている。	※	異動を少なくし継続的に馴染みの職員がケアに当たれる様努めたい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 社内や社外研修を受けるように案内し、進めている。 (外部評価) 管理者は、法人内外の研修への参加を職員に呼びかけている。ホーム負担で参加した研修については、受講者が報告書を作成し、他の職員に伝達している。職員が自分で希望する研修については経費が自己負担になるため報告書は作成していないが、個人的に学んだ点などは職員同士で伝え合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 今はまだ相互訪問が出来ていない。	※	社協の方にも運営推進会議のメンバーに入って貰い、在宅介護支援センターとも交流を図りたい。
			(外部評価) 同法人内や他の事業所との交流は多くあり、相互にサービスの向上に努めているが、グループホームとの交流機会は少ない。	※	グループホーム同士で交流する機会を多く持てるようにし、情報交換や勉強会、研修会などを行い、相互にサービスの向上に努める取り組みを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 今の所無い。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) さまざまな研修に参加させている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 食事やおやつの時などにお話をするよう努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) かなり以前から入居された方が多いので、最近入居された方がいないため必要がないが家族会などで聞くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人や家族の希望を良く聞いて、相談に乗っている。その状況に応じて他の施設の紹介も含めて説明をしている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 居宅介護支援事業所との連携の下、他のサービスを利用しながら順番を待って利用の開始を行っている。 (外部評価) 入居する前に本人及び家族にホームに来て見学してもらっている。来られない場合にはホーム側から訪問し、家庭の状況等を把握するように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の知っている知識や得意分野の事柄を教えてもらったり掃除や洗濯、畑仕事に至るまで協力してもらい、共に生きる生活を送っている。 (外部評価) 本人の経験を聞いて学んだり、得意なことなどを教えてもらっている。言葉かけを工夫して一緒に食事を作ったり、後片付けをしたり、洗濯物をたたむなどしながら、相互に支えあう関係を築いている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族には協力してもらえる所は協力してもらい、こちらが手助け出来るところはして、共に協力体制を構築している。	※	買い物、外出支援に同行、見守りをお願いしていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 問題行動や行動障害があった利用者も今は落ち着き、利用者とお話ができる様にまでなっている。ご家族も安心して面会に来られている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) はがき等で交流、友人の来園、利用者の地元での行事に参加する事で、関係が保てるよう支援に努めている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員と一緒に和気あいあいと食事を摂ったり、レク、家事に関わる事、会話などを通じて孤立しないよう支援に努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ドライブや野菜の収穫等の会話の中で本人の思いを探り、職員同士で共有するよう努めている。 (外部評価) 職員は、日々の暮らしの中で本人の思いを聞いたり、家族の訪問時にも希望を聞いている。また、その日の本人の体調なども把握しながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) センター方式を使用してアセスメントし情報収集や問題提起に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 介護記録、日誌、スタッフ間の申し送り等で、見極めに努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 生活自立支援を目標にアセスメントし、出来るだけ本人、家族参加の元、カンファレンスを行い、十分意見を聞いたうえで介護計画を立てている。 (外部評価) 本人や家族にもできるだけ会議に参加してもらい、希望や意見を聞いたり、職員の気づきや意見も採り入れて話し合いを行い、一人ひとりに合わせた具体的な介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) すぐに介護計画に反映は出来て無い事もあるが、業務(対応)の見直しはその都度行っている。 (外部評価) 介護計画は定期的に見直しを行い、評価も行っている。ケアチェック表を作り、毎日項目毎にチェックしている。利用者の状況に変化が見られた場合には、家族の意見も聞きながら話し合い、現状に合った新たな介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 介護記録、日誌、スタッフ間の申し送りの徹底を行い、皆で共有し、見直しに活かすよう努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 特養には温泉も有り、利用させてもらったり、デイサービスのカラオケや訪問行事に参加をさせてもらっている。夏祭りへの参加もさせてもらっている。 (外部評価) 法人内の施設にある温泉を利用させてもらったり、カラオケや夏祭りなどさまざまな行事に参加している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアによる踊りの披露、お茶会、園から中学校への緑化ボランティア等で協力し合っている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ケアハウスの設備を借りてカラオケや温泉など多機能なサービスの利用を行っている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人、家族の了解の下に状況に応じた医療が受けられるよう支援している。かかりつけ医の変更希望時にはスムーズに転院が出来るよう支援している。 (外部評価) 本人及び家族の希望するかかりつけ医を受診している。受診の付き添いは家族又は職員がしている。また本人の状態によっては家族と職員と一緒に付き添うこともある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 以前から専門医に掛っている人については継続して診察が受けられるよう支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 経験豊富な看護師が常駐しており、馴染みの関係の中で、日常の健康管理に努めている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院関係者との情報交換、ご家族との相談、施設の受け入れ態勢の整備等、早期退院に向けた協力を努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ご家族さんとは今後どうして行くのか相談を日頃からしている。 (外部評価) 開設2年目でありまだ対象となる利用者はいないが、看取りの指針は定めている。状況が変わった時点で、本人や家族及び医師や職員との話し合いを行い、ホームでの対応は可能である。本人や家族が希望する場合は、看取りを行うことにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 協力医療機関が非常に協力的なので緊急を要する場合でも受け入れてくれる体制が整っている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 一人一人の尊厳を常に意識した対応を行うよう努めている。 (外部評価) 職員の言葉かけは自然でさりげなく、歯磨きやトイレの誘導も違和感を感じない。面会簿の記録も個人情報に配慮して個別に管理している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 思いの真意を探る事を意識して、納得のいく生活が送れるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 業務優先にならない事を意識し、出来る限り思いに添った暮らしが出来るよう努めている。 (外部評価) ホームとしての日課はあるが、利用者はその日の体調や気分に合わせて、ゲームや体操などに参加したり、居室で休むなどしながら自分のペースで過ごしている。職員は、本人の希望にそって支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 更衣時等も本人に衣類を選んでいただき、その人なりのおしゃれが出来るよう、またおしゃれをする事が楽しくなるような声かけを意識している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食べたい物を尋ねたりしながら、共に買い物、調理、後片付けを行っている。利用者個別に好みの外食、喫茶に出かけている。 (外部評価) 利用者は、できることを職員と一緒にやっている。各テーブルに職員が座り、利用者とは会話しながら楽しく食事している。片付けも食器を流しに持っていき、それを洗う方などそれぞれ分担して行っている。介助が必要な方には職員が横に座り、さりげなくサポートしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつ時は好みの飲み物を選んでいただいている。移動パン屋の来園時には個々に好みのパンを選んでいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンの把握に努め、紙パンツから布パンツで過ごす方が増えている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 夜間入浴も含め出来るだけ希望する時に入浴出来るよう支援している。 (外部評価) 入浴回数や時間は利用者によって違いがあるが、個々に希望にそって支援している。入浴のチェックも行い、気の進まない利用者には声かけを工夫するなどして、入浴を楽しむことができるよう配慮している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 一人一人のニーズにあわせていつでも休息が取れるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) スタッフと二人で外出(食事、喫茶、ドライブなど)を取り入れ個別の支援をしている。 (外部評価) 職員は利用者に役割を持ってもらえるような声かけを行い、一緒に食事を作ったり、掃除や洗濯たたみ、畑の収穫などを行っている。また利用者はゲームや歌、体操などをしたり、誕生会やお茶会も楽しんでいる。ホーム行事も、利用者が楽しめるよう季節毎に計画している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 希望がある利用者からおこずかいを預かり、管理しているが今の所あまり使う事が無い。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) スタッフと二人で外出(食事、喫茶、ドライブなど)を取り入れ個別の支援をしている。 (外部評価) 天気が悪い日以外は、散歩が日課となっている。利用者の希望によって買い物に出かけている。ホームの行事も、外出できるような計画を立てている。また近くの法人内施設の行事に参加したり、畑の収穫をするなど外出の機会を多くつくっている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ご家族の同行出来ない方の希望する墓参りや買い物、スタッフと一対一の外出など個別の支援。八十八か所参りやぶどう狩り、回転すしなどその他普段に行けない様な所への外出を支援している。	※	家族を含んだ個別の外出等を検討している。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご本人自ら書いた手紙や代筆した手紙を自らポストに投函したり、園で作っているポストに投函したものを、ご家族の来園時に手渡したりしている。園からの電話の折には、利用者様にも会話を勧めている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 玄関には施錠も無く、いつでも誰でも来園出来るようになっており、ご家族にも知人、友人などにいつでも来園していただけるよう声かけをお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員は身体拘束をしないケアの研修などにも参加し、理解をして拘束のないケアに取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間玄関に施錠する以外は鍵は掛けられていない。常に利用者の所在を意識するように努めている。 (外部評価) 利用者の自由な暮らしを支えるため、玄関及びユニットの出入りに鍵はかけておらず、近所の方や家族も気軽に訪ねて来られるように配慮している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に利用者の所在を意識したケアに努めている。居室におられる時にあつてはある程度の時間ごとに密かに確認をしている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人一人の見極めの中でフロア、居室における管理をしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 研修、訓練などで学び、ひやりハットにての反省及び改善に努めている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)	※	半期に一度の訓練を検討している。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) マニュアルを作り実行できるように心がけている。	※	都度都度、災害時の避難方法の確認を行う。近隣の方にも協力を得られるよう働きかけていきたい。
			(外部評価) 今年、ホームの近所にある法人内施設での合同避難訓練があり、ホームから利用者及び職員が参加して行われたが、ホーム独自の訓練は行っていない。災害対応マニュアルを作成し、避難経路も掲示しており、近隣の住民にも協力をお願いしている。	※	定期的にホーム独自の防災訓練を実施することを望みたい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 全室個室であり、転倒の危険性がある事を説明している。時には不穏になり徘徊や家に帰ると言われ出す事も良く説明している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一日3回のバイタルチェックを含め普段からの状態を把握しておき、数字に表れないわずかな変化を見逃さない様にし、看護、ご家族との速やかな連絡の下情報共有に努めている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 介護記録のファイルに処方箋を綴じて有り、服薬の変更時には特に、申し送り、記録の徹底をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 安易に下剤などに頼らず、運動、食事、定期的なトイレ誘導を行いまた食物繊維の多い食べ物も摂取していただいている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、歯磨き、舌の洗浄を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一日30品目を目標にバランスの考えた食事の提供に努めている。一人一人の状態にあった食事の提供に心がけている。 (外部評価) 食事摂取量や水分量を記録しており、利用者一人ひとりの状況を把握している。献立は利用者の希望などを聞いて、栄養バランスにも気をつけて作成し、一人ひとりに合わせて調理方法も変えているが、大まかな栄養摂取量の把握はできていない。	※	大まかな栄養摂取量の把握のためにも、定期的に専門的な観点からのチェックをしてもらうことを望みたい。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルに沿って実行されている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理用具は毎回消毒を行い、食材は出来るだけ買い物に出かけ、足りないものは地元の小売店に配達をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 自然環境に恵まれており、施設所有地内が近所の方の散歩道にもなっており、その際に声を掛け合い、立ち話などは頻繁に行われている。	※	施設内にも招く声かけも増やしていきたい。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節ごとに壁面の装飾を変えたり、時期の花を飾ったりする事で季節感を取り入れている。 (外部評価) 居間は明るく、職員が全体を見渡せるようになっており、利用者を見守ることができるようになっている。ソファやいすの配置も利用者が座りやすいように工夫され、利用者は思い思いの場所で過ごしている。季節に合わせた飾り付けがされ、落ち着いた雰囲気となっている。トイレも部屋のすぐ近くにあり、間違える利用者はいない。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロアにはソファ、応接セットなどを置いてあり、思い思いに利用している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れた家具の持ち込みを勧めている。結婚当初の鏡台を使用されている利用者もおられる。 (外部評価) 居室の廊下側の窓は障子となっており、家庭的で落ち着いた雰囲気となっている。ベッドはホーム側が用意したものであるが、利用者はそれぞれ家庭から使い慣れた家具や好みの物、自分専用の物など持ち込んでいる。家具の配置や飾りつけなども本人に合わせており、その人らしい居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 適宜、換気を行っており、各居室には空気清浄機が設置されており、トイレも自動的に換気扇が働くようになっている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 各所に手すりを設置、階段も幅を狭目に取り、左右の手すりが使える様になっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 介護記録、日誌、申し送りの徹底を行い、正確な見極めのもと自尊心を傷つける事なく本人の力を伸ばせる様努めている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関外には花壇もあり、ベンチを置き、ゆっくりと外の空気を感しながら過ごせるようになっている。規模は小さいが畑での野菜の世話、収穫も楽しんでいる。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム ステラ

(ユニット名)

2階

記入者(管理者)

氏名

井手口 裕

評価完了日

平成 20 年 10 月 20 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域のなかで暮らすこと、不安なく暮らすことを意識し【あんき】という言葉を使って理念とした。 (外部評価) 管理者及び職員は地域密着型サービスの意義を理解しており、開設時の理念を誰にでも分かる言葉「共に笑顔であんきな生活」に置き換えて表現している。開設当初の理念は、利用者のケアを実践するために詳しく具体的に書かれているため、職員は日々のケアに活かしている。		施設名が【ステラ】に変更になったことでもあり、理念の見直しの検討中である。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) ”共に笑顔であんきな生活”を目標とし日々理念をもとにケアにあっている。 (外部評価) 管理者及び職員は理念を共有し、利用者の日々の暮らしを支えている。理念は誰でも見えるところに掲示している。		フロアでの朝礼の折にでも唱和し、さらに理念を意識したケアをおこなっていきたい。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 毎日薬師堂への御参りを行い、週に1回は掃除をして地域への貢献をしている。		ご家族にむけては二か月一回の園だよりに掲載し、又、隣近所にも配布することを考えたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的に挨拶は行っているが、立ち寄ってもらうことはできていない。		日頃から気軽に立ち寄って頂けるよう、声かけをふやしていきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会の奉仕作業に参加・文化祭を見学したり、中学校に花植えに出かけたり交流を図っている。 (外部評価) ホームとして自治会に入っていないが、地域の清掃などの役割は担っている。地域の情報は、広報、地元在住の職員、運営推進会議等で得ている。地域行事や同法人施設の行事に参加したり、移動パン屋に来てもらったり、学生ボランティアを受け入れるなどして、交流を深めている。	※	隣近所へ園だよりや年賀状を送ることや、幼稚園・学校等へ出向き共に掃除をしたり、交流の機会を増やしたい。 地域との交流はできてきているので、さらに地域との連携・交流を図るために、ホームの機能を地域に還元していく取り組みを期待したい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価)		施設での行事などの折には、隣近所の高齢者に声かけし共に楽しい時間を過ごすなど、暮らしのハリの手伝いができればと考えている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 意義の理解はできているが、具体的な改善には取り組んでない。自己評価の項目についてはスタッフ全員で時間をかけ検討している。 (外部評価) 管理者及び職員は評価の意義を理解しており、自己評価については職員全員で意見を出し合い、話し合っている。自己評価をすることにより気づきも得られている。外部評価の結果は職員に伝え、改善に向けて話し合っている。		一つずつ、評価を活かし改善に努めていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 二か月に一度は会を持ち、CD等で活動状況をみていただき、評価を頂いている。そこでの意見はサービスに反映させている。 (外部評価) 会議には本人及び家族、市職員、地域住民等が参加している。利用者の状況やホームの活動内容、職員の会議や研修状況などを報告し、意見交換も行っている。出された意見はサービスの向上に活かしている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 介護保険の更新時等には会う機会をもっている。推進会議の案内などの書類は送付せず、出向いて手渡しすること等で顔なじみになるよう努めている。 (外部評価) 市との連携は取れており、ホームの状況報告を行ったり、相談するなど、互いに行き来する関係ができている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 施設内外の研修等で学ぶ機会を持っている。		大西支所・包括支援センターに来園してもらい、勉強会を今後も検討したい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 施設内外の研修等で学ぶ機会を持ち虐待防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 質問しやすい雰囲気をつくることを意識し、理解・納得いただけるよう努力している。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議に利用者も参加し、外部者とともに意見を聞き運営に反映させている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 暮らしぶりについては園だよりにて報告。健康状態についてはその都度伝えている。職員の異動の報告については十分でない。 (外部評価) 家族の来訪時及び2か月に1回ある家族会などで報告している。状況に変化があればその都度連絡している。また、ホーム便りを発行して日々の生活を伝えている。金銭については預からないことを基本としているが、預かっている利用者に関しては、家族の来訪時に出納帳を見てもらい、家族から確認のサインをもらっている。		スタッフの異動についても、園だより等を通じて報告したい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会（二か月に一回開催）・面会時・個々のカンファレンス時に意見を吸い上げている。家族も運営推進会議に参加しており、外部者と共に意見を聞き運営に反映させている。 (外部評価) ホームの入り口に意見箱を設置している。家族の来訪時や家族会、運営推進会議などで意見を聞いている。また、重要事項説明書にホーム及び外部の苦情申立先を明記し、介護サービスに関する苦情解決の仕組みについても表記している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月の全体ミーティング・フロア別ミーティング時等に意見・提案を聞き検討・反映させている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 行事等の折は通常の数にプラスしたスタッフを確保する等調整に努めている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動は多い。 利用者へのダメージを少なくするよう、こまめに業務の調整を行ない、新しいスタッフも早く業務に慣れるよう配慮している。 (外部評価) 職員の離職や管理者の交代、法人内の異動等はあったが、ユニット内は固定するよう配慮している。異動時は他の職員がフォローしている。		異動を少なくし継続的に馴染みの職員がケアにあたるよう努めたい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 段階に応じた勉強会・研修への声かけをし、参加できるような勤務・希望休の調整をしている。 (外部評価) 管理者は、法人内外の研修への参加を職員に呼びかけている。ホーム負担で参加した研修については、受講者が報告書を作成し、他の職員に伝達している。職員が自分で希望する研修については経費が自己負担になるため報告書は作成していないが、個人的に学んだ点などは職員同士で伝え合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 今はまだ相互訪問が出来ていない。		※	社協の方に運営推進会議のメンバーに入ってもらったり、在宅支援センターと交流を図っていきたい。 同業者間の相互研修にも取組みたい。
			(外部評価) 同法人内や他の事業所との交流は多くあり、相互にサービスの向上に努めているが、グループホームとの交流機会は少ない。			
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 希望休には出来る限り応じている。			
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) さまざまな研修に参加させることによって意識の向上を図っている。			
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 食事やおやつの時などにお話をする様努めている。			
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) かなり以前から入居されている方が多いので、必要ないが家族会などで聞くようにしている。			

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人や家族の希望を良く聞いて、相談に乗っている。またその状況に応じて他の施設やサービスの紹介もしている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用希望者の見学は自由にさせていただいている。 (外部評価) 入居する前に本人及び家族にホームに来て見学してもらっている。来られない場合にはホーム側から訪問し、家庭の状況等を把握するように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 二年を経過し調理・掃除・野菜作り等に限らず、日常の喜怒哀楽を共にし支えあう関係ができつつあり、共に生きる生活が出来ている。 (外部評価) 本人の経験を聞いて学んだり、得意なことなどを教えてもらっている。言葉かけを工夫して一緒に食事を作ったり、後片付けをしたり、洗濯物をたたむなどしながら、相互に支えあう関係を築いている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族会・夏祭りなどの行事には利用者に付添等をしていただいている。		買い物支援・外出支援に同行・見守りをお願いしていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 複雑な関係の利用者もおいであるが、現在よりも少しでも良好な関係になるよう仲立ち・支援をおこなっている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) はがき等で交流・友人の来園・利用者の地元での行事に参加することで、関係が保てるよう支援に努めている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員と一緒に和気あいあいと食事を摂ったり、レク・家事に関わること・会話などを通じて、孤立しないよう支援に努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ドライブや野菜の収穫等日常の話の機会を多く設け、本人の思いを探り、職員同士で共有するよう努めている。 (外部評価) 職員は、日々の暮らしの中で本人の思いを聞いたり、家族の訪問時にも希望を聞いている。また、その日の本人の体調なども把握しながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) センター方式を使用し情報収集に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 介護記録・日誌・スタッフ間の申し送り等で、見極めに努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 生活自立支援を目標にアセスメントし、出来るだけ本人、家族参加の元、カンファレンスを行い、十分意見を聞いたうえで介護計画を立てている。 (外部評価) 本人や家族にもできるだけ会議に参加してもらい、希望や意見を聞いたり、職員の気づきや意見も採り入れて話し合いを行い、一人ひとりに合わせた具体的な介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 計画の期間に応じて見直しはその都度行っている。 (外部評価) 介護計画は定期的に見直しを行い、評価も行っている。ケアチェック表を作り、毎日項目毎にチェックしている。利用者の状況に変化が見られた場合には、家族の意見も聞きながら話し合い、現状に合った新たな介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 介護記録・日誌・申し送りの徹底を行い、皆で共有し、見直しに活かすよう努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 特養には温泉も有り、利用させてもらったり、デイサービスのカラオケや訪問行事に参加をさせてもらっている。夏祭りへの参加もさせてもらっている。 (外部評価) 法人内の施設にある温泉を利用させてもらったり、カラオケや夏祭りなどさまざまな行事に参加している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアによる踊りの披露・お茶会、園から中学校への緑化ボランティア等で協力し合っている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ケアハウスの設備を借りてカラオケや温泉など多機能なサービスの利用を行っている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人・家族との了解のもとに状況に応じた医療が受けられるよう支援している。 かかりつけ医の変更希望時にはスムーズに転院が出来るよう支援している。 (外部評価) 本人及び家族の希望するかかりつけ医を受診している。受診の付き添いは家族又は職員がしている。また本人の状態によっては家族と職員と一緒に付き添うこともある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 以前から専門医に掛っている人については継続して診察が受けられるよう支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 経験豊富な看護師が常駐しており、馴染みの関係のなかで、日常の健康管理に努めている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院関係者との情報交換・ご家族との相談・施設の受け入れ態勢の整備等、早期退院にむけた協力を努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ご家族さんとは今後どうして行くのか相談をしている。 (外部評価) 開設2年目でありまだ対象となる利用者はいないが、看取りの指針は定めている。状況が変わった時点で、本人や家族及び医師や職員との話し合いを行い、ホームでの対応は可能である。本人や家族が希望する場合は、看取りを行うことにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 協力医療機関が非常に協力的なので緊急を要する場合でも受け入れてくれる体制が整っている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 家族及び本人から情報を収集し十分な話し合いの元の入居となっている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 一人ひとりの尊厳を常に意識した対応を行うよう努めている。 (外部評価) 職員の言葉かけは自然でさりげなく、歯磨きやトイレの誘導も違和感を感じない。面会簿の記録も個人情報に配慮して個別に管理している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 思いの真意をさぐることを意識して、納得のいく生活が送れるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 業務優先にならないことを意識し、出来る限り思いに添った暮らしが出来るよう努めている。 (外部評価) ホームとしての日課はあるが、利用者はその日の体調や気分に合わせて、ゲームや体操などに参加したり、居室で休むなどしながら自分のペースで過ごしている。職員は、本人の希望にそって支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 更衣時等も本人に衣類を選んでいただき、その人なりのおしゃれが出来るよう、また、おしゃれをする事が楽しくなるような声かけを意識している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食べたいものを尋ねたりしながら、共に買い物・調理・片付けを行っている。利用者個別に好みの外食・喫茶にでかけている。 (外部評価) 利用者は、できることを職員と一緒にやっている。各テーブルに職員が座り、利用者とは会話しながら楽しく食事している。片付けも食器を流しに持っていき、それを洗う方などそれぞれ分担して行っている。介助が必要な方には職員が横に座り、さりげなくサポートしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつ時は好みの飲み物を選んでいただいている。移動パン屋の来園時には個々に好みのパンを選んでいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンの把握に努め、紙パンツから布パンツで過ごす方が増えている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 夜間入浴も含め出来るだけ希望する時に入浴できるよう支援している。 (外部評価) 入浴回数や時間は利用者によって違いがあるが、個々に希望にそって支援している。入浴のチェックも行い、気の進まない利用者には声かけを工夫するなどして、入浴を楽しむことができるよう配慮している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりのニーズにあわせていつでも休息がとれるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) スタッフと二人で外出(食事・喫茶・ドライブなど)を取り入れ個別の支援をしている。 (外部評価) 職員は利用者に役割を持ってもらえるような声かけを行い、一緒に食事を作ったり、掃除や洗濯たたみ、畑の収穫などを行っている。また利用者はゲームや歌、体操などをしたり、誕生会やお茶会も楽しんでいる。ホーム行事も、利用者が楽しめるよう季節毎に計画している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 希望がある利用者からおこずかいを預かり、管理しているが今のところあまり使うことが無い。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) スタッフと二人で外出(食事・喫茶・ドライブなど)を取り入れ個別の支援をしている。 (外部評価) 天気が悪い日以外は、散歩が日課となっている。利用者の希望によって買い物に出かけている。ホームの行事も、外出できるような計画を立てている。また近くの法人内施設の行事に参加したり、畑の収穫をするなど外出の機会を多くつくっている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ご家族の同行出来ない方の希望する墓参りや買い物、スタッフと一対一の外出など個別の支援。 八十八か所参りやぶどう狩り、回転すしなどその他普段に行けないようなところへの外出を支援している。		家族を含んだ個別の外出等を検討している。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご本人自ら書いた手紙や代筆した手紙を自らポストに投函したり、園で作っているポストに投函したものを、ご家族の来園時に手渡したりしている。 園からの電話の折には、利用者様にも会話を勧めている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 玄関には施錠もなく、いつでも誰でも来園できるようになっており、ご家族にも知人・友人などにいつでも来園していただけるよう声かけをお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員は身体拘束をしないケアの研修などにも参加し、理解をして拘束のないケアに取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間玄関に施錠する以外は鍵はかけられていない。常に利用者の所在を意識するように努めている。 (外部評価) 利用者の自由な暮らしを支えるため、玄関及びユニットの出入りに鍵はかけておらず、近所の方や家族も気軽に訪ねて来られるように配慮している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に利用者の所在を意識しケアに努めている。居室におられるときにあってはある程度の時間ごとにひそかに確認をしている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの見極めの中でフロア・居室における管理をしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 研修・訓練などで学び、ひやりハットにての反省及び改善に努めている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)		半期に一度等の訓練を検討している。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) マニュアルを作成し実行できるよう心がけている。 (外部評価) 今年、ホームの近所にある法人内施設での合同避難訓練があり、ホームから利用者及び職員が参加して行われたが、ホーム独自の訓練は行っていない。災害対応マニュアルを作成し、避難経路も掲示しており、近隣の住民にも協力をお願いしている。	※	都度都度、災害時の避難方法の確認を行う。近隣のかたにも協力を得られるよう働きかけていきたい。 定期的にホーム独自の防災訓練を実施することを望みたい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 全室個室であり、転倒の危険性がある事を説明している。時には不穏になり徘徊や家に帰ると言われ出すことも良く説明している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一日三回のバイタルチェックを含め普段からの状態を把握しておき、数字に表れないわずかな変化をみのがさないようにし、看護・ご家族との速やかな連絡のもと情報共有に努めている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 介護記録のファイルに処方箋をとじてあり、服薬の変更時には特に、申し送り・記録の徹底をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 安易に下剤などに頼らず、運動・食事・定期的なトイレ誘導を行いまた食物繊維の多い食べ物も摂取して頂いている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、歯磨き・舌の洗浄を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一日30品目を目標にバランスを考えた食事の提供に努めている。一人ひとりの状態にあった食事の提供にこころがけている。 (外部評価) 食事摂取量や水分量を記録しており、利用者一人ひとりの状況を把握している。献立は利用者の希望などを聞いて、栄養バランスにも気をつけて作成し、一人ひとりに合わせて調理方法も変えているが、大まかな栄養摂取量の把握はできていない。	※	大まかな栄養摂取量の把握のためにも、定期的に専門的な観点からのチェックをしてもらうことを望みたい。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルに沿って実行されている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理用具は毎回消毒を行い、食材は出来るだけ買い物の出かけ、足りないものは地元の小売店に配達をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 自然環境に恵まれており、施設所有地内が近所の方の散歩道にもなっており、その際に声を掛け合い、立ち話などは頻繁におこなわれている。		施設内にも招く声かけも増やしていきたい。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節ごとに壁面の装飾をかえたり、時期の花を飾ったりすることで季節感を取り入れている。 (外部評価) 居間は明るく、職員が全体を見渡せるようになっており、利用者を見守ることができるようになっている。ソファやいすの配置も利用者が座りやすいように工夫され、利用者は思い思いの場所で過ごしている。季節に合わせた飾り付けがされ、落ち着いた雰囲気となっている。トイレも部屋のすぐ近くにあり、間違える利用者はいない。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロアにはソファ・応接セットなどを置いてあり、思い思いに利用している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れた家具の持ち込みを勧めている。結婚当初の鏡台を使用されている利用者もおられる。 (外部評価) 居室の廊下側の窓は障子となっており、家庭的で落ち着いた雰囲気となっている。ベッドはホーム側が用意したものであるが、利用者はそれぞれ家庭から使い慣れた家具や好みの物、自分専用の物など持ち込んでいる。家具の配置や飾りつけなども本人に合わせており、その人らしい居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 適宜、換気をおこなっており、各居室には空気清浄機が設置されており、トイレも自動的に換気扇が働くようになっている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 各所に手すりを設置、階段も幅を狭目に取り、左右の手すりが使えるようになっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 介護記録・日誌・申し送りの徹底を行い、正確な見極めのもと自尊心を傷つけることなく本人の力を伸ばせるよう努めている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関外には花壇もあり、ベンチを置き、ゆっくりと外の空気を感じながら過ごせるようになっている。規模は小さいが畑での野菜の世話・収穫も楽しんでいる。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)